

## 教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	
若林 隆久 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：『「学習する組織」入門』</p> <p>著者：小田理一郎</p> <p>出版社：英治出版</p> <p>ISBN：9784862762108</p>	<p>生涯学習やリスクリングなど、学習することの重要性はますます高まっています。</p> <p>注意してもらいたいことは、閉じた個人によって学習がなされるわけではなく、チームや組織の助けを借りて個人の学習がなされるし（フィードバックや学習共同体の重要性）、チームや組織を単位とした学習もあるということです（いわゆる組織学習）。</p> <p>私自身はそんな組織を目指しています。</p>
<p>② 図書名：『越境学習入門：組織を強くする冒険人材の育て方』</p> <p>著者：石山恒貴・伊達洋駆</p> <p>出版社：日本能率協会マネジメントセンター</p> <p>ISBN：9784820729952</p>	<p>「ホームとアウェイを行き来することによる学び」である越境学習を通じて「冒険する力」を身に付ける。</p> <p>個人がキャリアを切り拓く上でも、組織がイノベーションや変革を成し遂げるためにも重要なことではないでしょうか。</p> <p>気鋭の著者らが執筆した、いま注目を集める越境学習についての一冊です。</p> <p>ぜひみなさんも果敢に越境してください！（私も頑張ってます）</p>
<p>③ 図書名：『〈はじめての経営学〉ビジネス・リサーチ』</p> <p>著者：佐藤郁哉</p> <p>出版社：東洋経済新報社</p> <p>ISBN：9784492503287</p>	<p>「卒業論文、何をどうすればいいかわからない」  「論文や調査研究の面白さがわからない」  「そもそも論文って何？リサーチ・クエスチョンとか仮説とか意味不明」</p> <p>こんな悩みや愚痴に答えてくれる待望の本が出版されました！  少なくとも私はすぐに購入し、今年度からゼミの卒論指導（と社会人研修）で使い始めました。  経営学系であってもそうでなくてもぜひ手元に置いておきたい一冊です。</p>